

## トラブル：空気調節レバーが動かない時(例：セラビの場合)



①まず、扉をあけ、中を確認  
手前にある、長方形の部分が  
空気調節口になります。



②調節口のネジをプラスドライバー  
でとります。



③調節口の蓋を外します。  
ネジは失くしやすいので気をつけて下さい。

④こちらは、空気調節レバーが開いている状態です。



④こちらは、空気調節レバーが閉じている状態です。



⑤この状態で動かない場合は、図のように  
上側のプレートにマイナスドライバーあるいは  
平たいものをあて、ドライバーの取っ手をたたくように  
してプレートを右側に動かすイメージで動かします。



⑤この状態で動かない場合は、図のように  
上側のプレートを左に動かすイメージで動かします。

⑥原因としては、シーズンオフ時に、空気調節口に溜まった灰が固まり、動かなくなることが多いです。  
また、無理に動かすことで、調節レバーが折れてしまう場合がございます。  
シーズンオフになる前に、一度空気調節口も掃除していただくことが、トラブル回避につながります。

## トラブル：空気調節レバーが折れてしまったら(例：セラビの場合)



セラビ用空気調節レバー  
¥6,900(税抜)

シーズンオフの間、薪ストーブを使わずにいと、いざ、使用しようというときに、空気調節用のレバーが動かなくなっているときがあります。

そんな状態で無理に動かすと、レバーの溶接された部分から折れてしまう場合があります。そんな時は、空気調節レバーのみの販売も行っておりますので、ご利用ください。

(お見積りは無料です。お問い合わせよりご相談ください。)

### ■空気調節レバーの取り外し・取り付け手順



① 灰受けの扉を開けて、空気調節レバーを確認します。この時、灰受け皿を外しておくと見やすいです。



② レバーの下部分は図のようになっておりますので六角ナットを上手く右巻きに回して取ります。



③ ナットが取れましたら、レバーを上手く斜めにし、取り外します。取り付け時も同様です。



④ レバーを調節口にある半円の穴と、上のプレートの穴に上手くひっかけます。引っかかりましたら、ナットを締めます。